

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	敬老バス支援事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	03	01	03	02	54
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者生きがい推進課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	横山 友二				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住のおおむね65歳以上が20人以上で組織した団体	意図	高齢者の交流の場を広げ、健康で生きがいのある生活を送れるようになる。
事業内容	高齢者団体の視察研修やレクリエーションの送迎。			
事業開始から現在までの状況変化	高齢者団体の視察研修やレクリエーションの送迎に市が委託したバスを使用することで、高齢者の交流の場を広げ、健康で生きがいのある生活を提供する。 平成27年度利用人数の制限を30人以上から20人以上に引き下げる規則改正をした。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	利用回数	207	211	235	
②	利用人数	8,057	7,297	7,202	人	→→	
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 前年度比利用回数が増加しており、今後とも高齢者の親睦、交流の機会に活用したい。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		15,485,662	13,121,069	14,577,114			
事業費(b)(円)		10,594,762	8,284,069	9,306,114	障害者団体への貸出、子供たち対象のレクリエーション等の公益的事業での貸出（目的外の効用貸出）が増加してきている。敬老バス利用日と目的外利用日が重複する場合は、バスを2台使用し運行している。目的外使用貸出については福祉目的のみとし事前に年間利用計画を各担当課から提出させる。		
うち一般財源		10,594,762	8,284,069	306,114			
職員給与費(c)(円)		4,890,900	4,837,000	5,271,000			
人役・職員(人)		0.70	0.70	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	利用時間の拡大、受益者負担の観点から、利用者負担金の見直しを検討する。また、貸切バスの運賃制度の変更に伴う委託料の高騰に対し当該事業の実施方法の検討を行う。	③取組の課題	業務委託費の高騰から、事業の実施方法について、引き続き検討する。
②今年度(H27)に実施した取組	利用者負担については、法令上の制約があるためできないことが判明した。バスの運行に係る業務委託のほかバスの購入、リース等コストを勘案し、事業の継続方法について検討を行った。	④今後の改善計画	今後の事業の継続について、早急に方向性を示し、平成29年度以降の事業が円滑に遂行できるよう努める。